

11. 出来町天王祭

三地区に鎮座する須佐之男社の祭礼である
三輦の山車が各須佐之男社を答礼(参拝)する
祭礼日は6月第1土曜日・日曜日

古くは6月5日作り物を拵え試楽祭を実施した
作り物は熱田祭を真似ていた様である。
翌6日は各地区より3輦の祭車を曳渡した。
文化年中より若宮祭の古車を譲り受け曳き始めた。
当時は藩主の許しが無く提灯台の位置付けであった。

文政4年、中之切が10代藩主斉朝より御庭車の石橋車の
拝領を受けた。翌5年に本式の山車と認められた。

天保年中に斉朝の御上覧を機に水引幕に縫いを
施し大幕は猩々緋に仕替える等装飾を一新した。
猩々緋の大幕の使用は藩より許可が下りていなかった
ので、役人の質問に対し「紅木綿」と答えてお咎めが
無かったとの言い伝えがある。



※出来町天王祭は6月15日に灯し上げを行い祭りを終了する。提灯で各切が「西」「中」「古」の文字を作る。 77

①鹿子神車 宝歴11年(1761)の作

- 宝歴11年若宮祭祭礼車の菊慈童車として住吉町で製作
- 明和9年(1772)住吉町が河水車を新造
- 文化7年(1810)年に西之切が旧車を購入する

◆からくり人形 唐子の蓮台倒立

上山に大将と2体の唐子、前棚に磨振りを置く
からくりは小唐子が蓮台の上で逆立ちをし
音松と呼ばれる人形が支える。小太鼓を打鳴らし
その面白さにお梅さんと呼ばれる中唐子が
団扇、太鼓を乱打しながら左右へ飛び走る。
この2体の出来栄を見て、大将が軍配を振る。

- ◇大将人形
- ◇中唐子(お梅さん)
- ◇小唐子
- ◇音松
- ◇磨振り

人形は全て西之切で新造



- ◆お囃子
 - ・道行囃子
 - ・車切
 - ・神楽
 - ・早神楽
 - ・遅神楽
 - ・下り端
 - ・帰り囃子(新囃子)

※帰り囃子は東照宮祭
七間町の帰り囃子を
もとに作られたもの



- ◆大 幕
 - 猩々緋の無地幕
 - 前飾に新出来町の町名を
黒糸で刺繍



- ◆水引幕
 - ◇白羅紗に孔雀の絵刺繍
森高雅の下絵
 - ◇白羅紗に雲竜の刺繍



二番永田組 名古屋で唯一現存する楯方組

- 戦前の名古屋三大祭では山車は曳くものではなく曳かせるもの(旦那衆のまつり)
- お囃子は旦那衆、楯取は出入りの職人、曳くのは縁のあるところに頼む

初代組頭の永田鉦次郎氏、二代目甥の政勝氏、三代目落合健次氏、当代の矢沢新吾氏で四代を数える
※三代目からは新出来町西之切の楯方が中心

初代の永田鉦次郎氏は大曾根在住で
大曾根祭胡蝶車の楯方を取りしきった

〈戦前〉東照宮祭中市場町石橋車や
若宮祭門前町陵王車の楯方を務め、
筒井町の神皇車や湯取車の楯方も務めた。

〈戦後〉筒井町、内屋敷町唐子車、
那古野天王祭の車楽・暴れ神輿等の
楯方・担ぎ手を務めた。

伝統ある名古屋祭の楯方文化を
現在にも伝えている。

■大曾根祭胡蝶車(初代)



■二番永田組(二代目)



②河水車 明和9年(1772)の作

- 文政4年藩主よりお庭車を拝受し石橋車と名付けたが戦災で焼失
- 昭和23年に住吉町より若宮祭祭礼車の河水車を中之切が購入

◆からくり人形 石橋獅子

戦災焼失の石橋車の所作を演ずる

上山に大将と2体の唐子、前棚に磨振りを置く。
能楽の石橋に由来したもので天下泰平のおめでたと瑞兆を現わす壮麗な獅子舞である。
獅子頭をつけた唐子が首を上下に激しく振りながら踊り、中人形の唐子が左右に走り動いて松の木に吊した太鼓を打つ。

◇大将人形

◇中人形 (唐子)

◇石橋獅子 杉浦寅太郎 昭和25年作

◇磨振り 飯田鉄夫 昭和63年作

◇磨振り(住吉町時代) 名古屋まつりで使用

◇龍神太鼓・龍神唐子 博物館に寄託



◆お囃子

- ・車切
- ・神楽
- ・道行
- ・三番叟
- ・人形囃子
「出端」「人形囃子」「下り端」
- ・そそり(早神楽)
- ・帰り囃子



◆大 幕

猩々緋の無地幕

前飾に中之切の町名を
金糸で刺繍

◆水引幕

白羅紗に唐獅子と牡丹を
金糸銀糸で刺繍



③王羲之車 戦後新造(昭和26年から5年間)

- 寛保年間(1741-44)製作の山車を東之切が文化2年(1805)に他所から購入した
- 山車は戦災焼失する
- 戦後、昭和26年から5年がかりで新造する

◆からくり人形 唐子の肩倒立

上山に唐冠りの大将と親人形、子人形の2体の唐子を置き、前棚には磨振りを置く。獅子頭をつけた唐子が軍配団扇を持った唐子の右肩に左の手を掛けグイッと逆立ちをして獅子を舞う。

- ◇大将人形(王羲之)
- ◇親唐子
- ◇子唐子
- ◇磨振り



◆お囃子

- 車切
- 神楽
- 人形囃子
- そそり(早神楽)
- 帰り囃子(七間町崩し)

※帰り囃子は東照宮祭七間町の
帰り囃子をアレンジしたもの

◆大 幕

猩々緋の無地幕

前飾に古出来町の町名を
黒糸で刺繍

◆水引幕

◇白羅紗に五神

(麒麟・鳳凰・亀・竜・虎)の刺繍

◇黒地に注連縄(晩幕)



出来町天王祭 祭礼風景 令和5年



灯し上げ
平成21年6月15日

